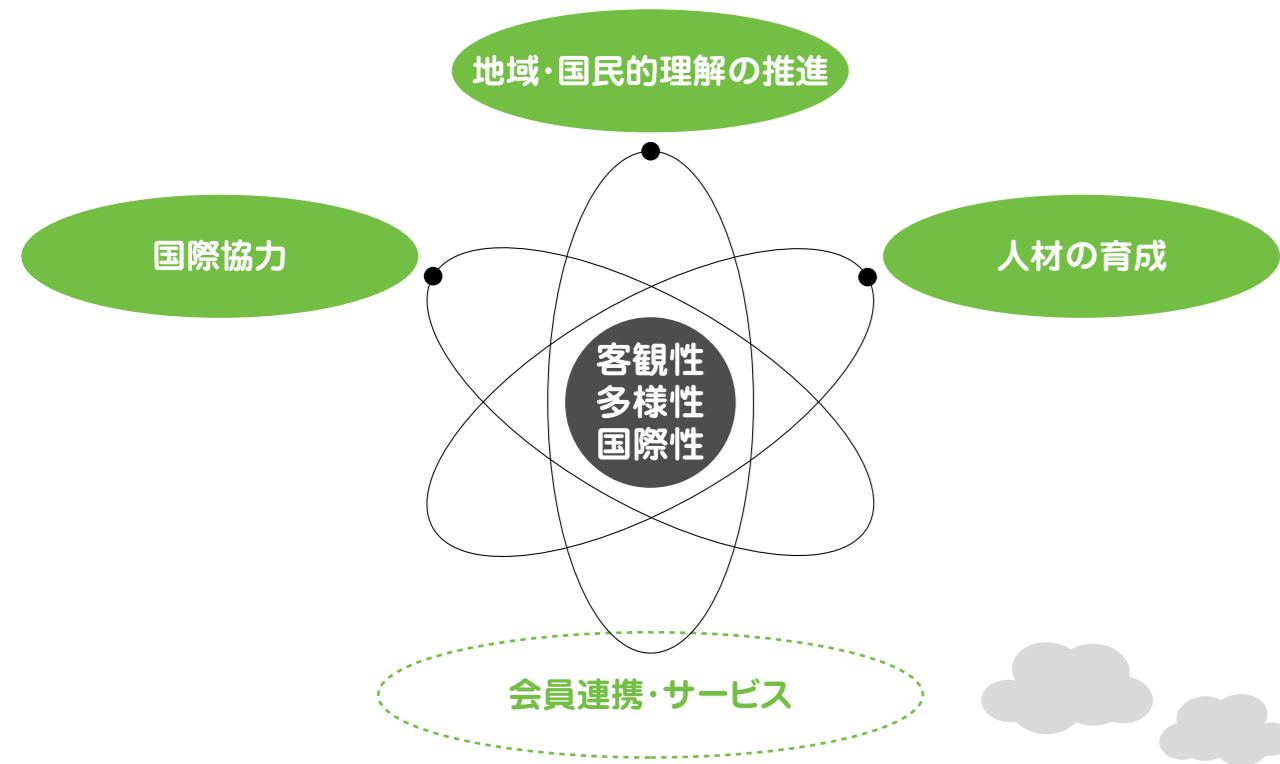


事業コンセプト

原産協会のValue(客観性、多様性、国際性)を生かし、「地域」「人材」「国際」を基軸に事業を展開しています。



原子力産業安全憲章

- 第1条 いかなる状況にあっても、責任感と使命感をもち、安全確保をすべてに優先させる
- 第2条 過去の失敗事例に謙虚に学び、安全情報の共有により安全対策の徹底をはかる
- 第3条 不安全と感じたことをいつでも話し合える、風通しのよい職場環境づくりにつとめる
- 第4条 良好な安全実績にも慢心することなく、常に「問いかける姿勢」を持ち続ける
- 第5条 広く社会の声に誠実に耳を傾けるとともに、マイナス情報も積極的に公開する

2006年10月23日制定 原産協会は、原子力関係の事業に携わる者すべてが常に心しなければならない理念として、上記憲章を制定しました。

会員入会のご案内

会員特典・サービス

- (1) 原子力産業新聞の送付
- (2) 原産協会の会員専用ウェブサイトの利用
- (3) メールマガジン「原産会員エクスプレス」の配信
- (4) 原産会員フォーラムへの参加
- (5) 各界の関係者が集う「新年会員交流会」への参加
- (6) 原産協会の年次大会、国際会議、業際活動等への会員価格による参加
- (7) 「世界の原子力発電開発の動向」の会員頒価での提供
- (8) 原子力産業セミナー(学生向け原子力産業のPRと合同就職説明会)ブース出展(有料)

* 入会は所定の申込用紙にご記入の上お申込み下さい。理事会の議決事項として上程し、承認を得ることが必要となります。
年会費は、1口(13万円)から。入会金はありません。
お問い合わせ先: 一般社団法人 日本原子力産業協会 地域交流部 TEL:03-6812-7102 e-mail:kaimu@jaif.or.jp

交通のご案内

- 東京メトロ銀座線「虎ノ門」駅 2番出口より徒歩1分
- 東京メトロ日比谷線/千代田線/丸の内線「霞ヶ関」駅 A12、A13出口より徒歩5分
- 都営三田線「内幸町」駅 A3、A4出口より徒歩7分
- JR「新橋」駅 日比谷口より徒歩11分



 一般社団法人 日本原子力産業協会
Japan Atomic Industrial Forum, Inc.

〒105-8605 東京都港区虎ノ門1丁目2番8号
虎ノ門琴平タワー9階

電話番号

企画総務部 03-6812-7100
政策・コミュニケーション部 03-6812-7103
国際部 03-6812-7109
地域交流部 03-6812-7102
人材育成部 03-6812-7101

FAX番号 03-6812-7110
URL <http://www.jaif.or.jp/>
E-mail information@jaif.or.jp

2014年7月

<http://www.jaif.or.jp/>

—社会の持続的な発展のために—

経営理念

Mission

私たちは、原子力技術が有する平和利用の可能性が最大限に活用されるよう、その開発利用の促進に努め、将来世代にわたる社会の持続的な発展に貢献します。

Vision

原子力をもつ価値の向上
原子力をもたらす恩恵の共有
原子力に対する信頼の確保

Value

客観性

原子力事業当事者ではない第三者性を活かした立場から、原子力と社会との諸問題について、長期的かつ俯瞰的視点に立った活動を行います。

多様性

多種多様な会員構成により異分野・異業種間の相互交流が可能であり、原子力産業界の代表として、多様な意見を踏まえた先見性のある様々な活動を行います。

国際性

長年にわたり培ってきた海外関係者・機関からの高い認知と信頼のもと、グローバルな視点に立った国際協力活動を行います。

 一般社団法人 日本原子力産業協会
Japan Atomic Industrial Forum, Inc.

原子力の信頼回復に向けて



会長
今井 敬

福島第一原子力発電所の事故により、原子力に対する社会の信頼は大きく損なわれました。さらに、この事故を契機に全国の原子力発電所が長期にわたって停止したことにより化石燃料の輸入量が増加し、貿易収支が大きく悪化するなど、日本経済に甚大な影響を与えています。

そうした中、国は中期的なエネルギー政策の指針となる新たなエネルギー基本計画を策定し、原子力発電を安全性の確保を大前提に、エネルギー需給構造の安定性に寄与する重要なベースロード電源と位置づけました。この基本計画を実効あるものにするためには、安全性が確認された原子力発電所を早期に再稼働し、電力の安定供給を確実なものにしなければなりません。さらには、エネルギー問題に関する国民的議論を一層深め、高レベル放射性廃棄物の最終処分などの課題にも取り組んでいく必要があります。

世界を見渡しますと、エネルギーセキュリティの確保や温室効果ガス削減の観点から原子力発電の新規導入や利用拡大が進んでおり、原子力先進国であるわが国の技術力に大きな期待が寄せられています。また、資源のないわが国の持続的な発展や、世界に貢献できる低炭素社会の実現には、原子力技術の維持が欠かせません。こうしたグローバルな視点に立った原子力人材の確保・育成に、産業界、国、大学、並びに研究機関等が連携して戦略的に取り組むことが重要であります。

原子力産業界は「福島の復興・再生なくして日本の原子力の将来はない」ことを改めて強く認識し、継続的な安全性向上を図りながら、透明性をもって立地地域をはじめ広く国民の皆様との対話活動を重ね、信頼回復に努めなければなりません。

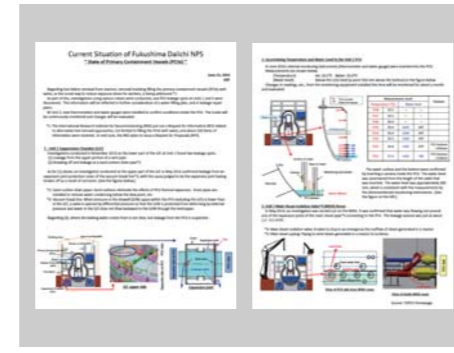
当協会におきましても、多様な会員構成や海外とのネットワークを生かして、わかり易い情報の発信に努めるとともに、引き続き原子力に対する広く国民の皆様の理解促進、人材育成、および国際協力等の諸活動を進めてまいります。



原産協会の Value（客観性、多様性、国際性）を生かした4つの事業



国への提言・社会へのメッセージ
原子力産業界の課題について、シンポジウム、理事長メッセージや国・関係機関への提言などを通じ、意見を表明。



福島原子力発電所事故の情報発信
福島原子力発電所の廃炉作業の進捗状況等について、ホームページや電子メールを通して国内外に情報を発信。



原産年次大会
世界の原子力産業界にとって最大のイベントのひとつ。国内外の専門家をきめ、約1,000名が参加し、毎年春に開催。



福島の復興に向けた活動
関係自治体との連携を深め、放射線理解に繋がる勉強会開催など、自治体・地域のニーズに即した支援等。



JAIF地域ネットワーク
電源立地地域と消費地域のオピニオンリーダーとのネットワークを通じて、face to faceの意見交換等の活動を実施。



原子力人材育成ネットワーク
産学官の連携により、原子力に係わる社会的基盤整備や人材確保を図るネットワークとして、2011年11月に設立。



原子力産業セミナー
原子力産業関連企業等が参加する学生向けの合同企業説明会で、原子力産業への理解促進と将来の人材を発掘。



若手リーダーの育成支援
国際会議で人材育成に向けた提言を発表。向坊隆記念事業では、世界原子力大学夏季セミナーへ若手技術者を派遣。

地域・国民的理解の推進

J

人材の育成

A

客観性
多様性
国際性

国際協力

I

会員連携・サービス

F



世界各国との協力・連携
韓国・中国・台湾などのアジア諸国・地域や欧米諸国との意見・情報交換を通じ、原子力の有効利用促進や原子力安全の向上に貢献。



国際機関との協力
国際原子力機関などの会合への参加や展示会への出展を通じ、世界に日本の原子力産業界をアピール。



ビジネスマッチング
中、英、仏、露などの原子力利用国と日本の企業との交流を図り、国際展開とビジネス機会を提供。



海外への情報発信
日本の原子力情報やニュースを迅速に積極的に海外に発信し、日本の原子力利用への理解を促進。



新年会員交流会
新年を迎えるにあたり、会員相互の連携・強化をはかるため開催する全会員を対象とした交流会を開催。



原産会員フォーラム
会員へのタイムリーな情報提供と会員相互の交流および連携強化のため、時宜を得たテーマでの講演会と交流会を開催。



会員等への情報発信
会員専用ホームページでの情報発信。「原子力産業新聞」等、幅広い国内外の情報を定期的に発行。



JaifTV（インターネット動画配信）
時宜に即したテーマについて、動画番組を配信。

組織、役員一覧

名称 一般社団法人 日本原子力産業界協会（略称：原産協会）
英語名: Japan Atomic Industrial Forum, Inc.
設立 1956年（昭和31年）3月
（日本原子力産業界協会として発足、2006年4月1日に改組、名称変更）
所在地 東京都港区虎ノ門1丁目2番8号 虎ノ門琴平タワー9階
会員数 約450法人・団体（会員名簿は当協会ホームページに掲載）

- 会長** 今井 敬（一社）日本経済団体連合会 名誉会長
副会長 大宮 英明 三菱重工(株) 代表取締役会長
理事長 服部 拓也（常勤）
常務理事 佐藤 克哉（常勤）
理事 秋庭 悦子 NPO法人あすかエネルギーフォーラム 理事長
 ♪ 魚住 弘人 (株)日立製作所 執行役員 専務 電力システム社 原子力担当CEO 兼 原子力事業統括本部長 兼 海外原子力戦略統括本部長
 ♪ 門上 英 三菱重工(株) 常務執行役員 エネルギー・環境トメイン 原子力事業部長
 ♪ 河瀬 一治 全国原子力発電所所在市町村協議会 会長
 ♪ 小出 重幸 日本科学技術ジャーナリスト会議 会長
 ♪ 阪口 正敏 中部電力(株) 代表取締役 副社長執行役員 原子力本部長
 ♪ 竹島 克朗 (一社)日本建設業連合会 常務執行役員
 ♪ 田中 伸男 (一財)日本エネルギー経済研究所 特別顧問
 ♪ 田中 治邦 日本原燃(株) 取締役 専務執行役員 安全本部長
 ♪ 遠山 真 三菱原子燃料(株) 代表取締役社長
 ♪ 島澤 守 (株)東芝 電力システム社 原子力事業部長
 ♪ 廣江 譲 電気事業連合会 副会長
 ♪ 藤原 正晴 (一財)発電設備技術検査協会 理事長
 ♪ 松浦 祥次郎 (独)日本原子力研究開発機構 理事長
 ♪ 松村 博史 双日(株) 常務執行役員 金属・ユーティリティ本部長 以上19名
監事 海老塚 清 (一社)日本電機工業会 専務理事
 ♪ 小野田 聡 電気事業連合会 専務理事 以上2名